

1期生：ベトナム（2011年8月）

栗田ゼミの第1期生は2011年の夏にベトナムのベンチェ省、ホアビン省を訪れました。

4つの農村を訪問しましたが、そこで見えてきたのは好景気に沸く都市部とは違い、農村部の貧困層の方々は旧正月を迎えることすら難しい、という事実でした。

見ず知らずの栗田ゼミの学生たちに向かって「貧しいあまり大したおもてなしも出来ずに申し訳ない」と謝り、涙するおばあさんにも出会いました。

「自分たちに何かできる事はないだろうか」と考え、調査地の人たちが無事に旧正月を迎えられるようにと募金活動を始めました。

この活動が、「自分達が見聞きした事実をしっかりと見つめ、自分達に出来ることを自分達で考え、そして自分達で行動に移す」という栗田ゼミの活動方針の基礎が出来上がりました。その後続くBFC活動にもこのスピリットは受け継がれています。